

敬語

名前

組 番

月 日

正答数

4

ねらい

●敬語を適切に使うことができる。

要点チェック

●敬語：聞き手や読み手、話の中の人をうやまう言葉。

① ていねい語

- ・文の終わりに「です・ます」などを使う。 例 わたしがやります。
- ・言葉の前に「お・ご」をつける。 例 お金

② 尊敬語

- ・「れる・られる」を使う。 例 先生が話される。 ↑先生が話す。
- ・「お……になる」を使う。 例 先生がお話しになる。 ↑先生が言う。
- ・特別な言葉を使う。

*覚えておきたい尊敬語

行く・来る……………いらっしゃる
 いる……………おいでになる
 言う……………おっしゃる
 食べる・飲む……………めしあがる

見る……………ご覧になる
 する……………なさる
 くれる……………くださる

③ けんじよう語(ていねい語と合わせて使われることが多い。)

- ・「お……する」を使う。 例 わたしがお伝えします。
- ・特別な言葉を使う。 例 明日、三時にうかがいます。

*覚えておきたいけんじよう語

行く・来る……………まいる
 いる……………おる
 言う……………申し上げる
 食べる・飲む……………いただく

見る……………拝見する
 する……………いたす
 あたえる……………さしあげる

問題

次の——線の言葉を、下の()の言い方に直しましょう。

- (1) 昨日、先生がうちに来た。(尊敬語) 〱
- (2) 先生の作品を見た。(けんじよう語) 〱
- (3) 先生は職員室にいる。(尊敬語) 〱
- (4) ぼくがやります。(けんじよう語) 〱

敬語 ^{けいご}	 敬語のルール
(1) いらっしゃった (おいでになった・来られた) (2) 拝見した いらっしゃる(おいでになる) (3) いたし (4)	(1) 「れる・られる」を使っても、特別な言葉を使っても正解です。 (2) 「見る」の尊敬語は「^{そんけい}ご覧になる」ですが、けんじよう語は「^{はいけん}拝見する」です。二つ合わせて覚えておきましょう。